

# がんセンターNEWS

Aichi Cancer Center News

第9号  
平成16年7月1日

発行  
愛知県がんセンター  
Tel.052-762-6111代

## 基本理念

私たちは病む人の立場にたって、最新の研究成果に基づき、最良の心あるがん医療を提供します。

The mission of Aichi Cancer Center is to provide patients suffering from cancer with the best, compassionate treatment and care based on leading-edge cancer research.

## 「研究所の外部評価」

研究所は平成12年度より、組織の見直しが進められており、所員の定数も平成11年度の87名から本年度は60名(研究員44名、技師16名)へと大幅減となっています。一方、平成13年度からリサーチレジデント(嘱託研究員)制度が導入され、本年度は10名の若い力が加わっています。この他、名古屋大学連携大学院の6名の院生が在籍しており、また、諸大学からの任意研修生も加え、総勢100名余が平成14年に全面改築が終了した新しい研究棟で日夜研究に励んでいます。

研究所の使命は、独自性の高いがん研究課題に取り組み、その成果を国内外に向けて情報発信することですが、研究活動を専門家の先生方に評価していただき、研究方向を適宜修正していく必要があります。前回の平成11年の外部評価委員会に次いで、本年2月に岐阜大学学長の黒木登志夫先生を委員長とし、他の3名の委員(廣畑富雄・九州大学名誉教授、珠玖洋・三重大学教授、今井浩三・札幌医科大学教授)を含む4名の先生方に外部評価をお願い致しました。



先日評価報告書をいただきましたが、“この数年の定数の削減という他に類を見ない厳しい状況の中で、世界の最先端の研究に比肩する業績を上げていく”とか“研究レベルの高いことは、科研費などの外部資金の獲得額をみても明らかである”というお褒めの御言葉もある一方、“一つの研究部に於ける研究テーマが多岐に亘り、テーマの絞り込み等も必要である”とか、“「研究というお花畑で遊ぶ」研究になりかかっている研究がみられないわけではない”という叱責も見られました。これらの御意見を参考にし、がん患者さんの診断・治療・予防につながる研究成果を目指し、研究を進めて参りたいと思っております。

愛知県がんセンター研究所 所長 高橋利忠

大野竜三総長 第57回中日文化賞を受賞！

大野総長は5月28日に中日新聞より文化の向上に寄与された方々に贈られる平成16年度中日文化賞を「成人白血病の標準的治療法の確立」に関する業績により受賞しました。1987年に Japan Adult Leukemia Study Groupを設立し、当時日本では成功させることの困難であった多施設共同臨床研究を実施し、全国200病院からなる大組織にまで発展させ、科学的・客観的データに基づいて行う医療の基礎となる質の高い研究成果をあげたことなどが評価されたものです。



## Aichi Cancer Center News

### 遺伝子多型と喫煙・飲酒の発がん危険度

### 研究所からの報告

中央実験部では、研究所全体の研究活動を円滑に進めるための研究支援業務を行うとともに、いくつかのテーマで独自の研究を進めています。今回はその研究の一つを紹介します。

飲酒・喫煙はいくつかのがんの危険因子として知られていますが、お酒を飲む人や、喫煙する人全てのがんにかかるわけではありません。逆に、飲酒・喫煙をしない人でもがんにかかることがあります。これは個人個人の体質によって発がん危険度は異なっており、喫煙・飲酒に対する感受性も人それぞれによって違うと考えられます。生体の設計図といわれているゲノムには、1,000箇所にも1箇所程度に各人によって異なるところがあり、それを多型と呼んでいます。



研究所  
中央実験部  
部長 石崎寛治

私たちは、L-myc という遺伝子に存在する多型に注目し、解析を進めてきました。L-myc 遺伝子にはLL型、LS型、SS型の遺伝子型があり、各人ごとにそれぞれの型を持っています。まずそれぞれの人の遺伝子型をPCR-RFLPという方法を用いて調べました(図1)。次に、喫煙・飲酒が危険因子として知られている食道がんの発がん危険度を遺伝子型ごとに算出したところ、LS型、SS型の人でLL型の人と比較し、喫煙による発がん危険度が統計学上有意に高くなることが明らかになりました。また、飲酒に関しても同様のことが明らかになりました(図2)。

この研究の成果や、他の同様の研究の成果により、各個人の遺伝形質に則したオーダーメイドのがん予防が可能となると考えられます。

図1.

(上)L-myc 遺伝子のゲノム構造。中央の線部分に多型が存在し、この領域をPCR-RFLP法を用いて解析しました。

(下)PCR-RFLP 法による多型の検出。ゲノム中の解析する領域をPCR法を用いて増幅します。次に、S型は切断し、L型は切断しない制限酵素を作用させます。そして、電気泳動にかけると泳動速度の違いによりSS, LS, LL型を判定する事が可能になります。

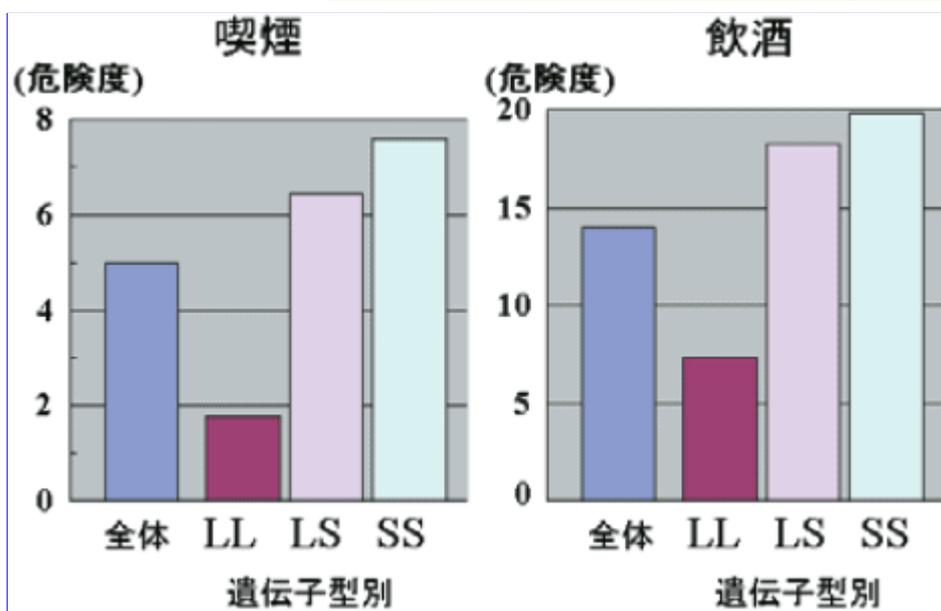
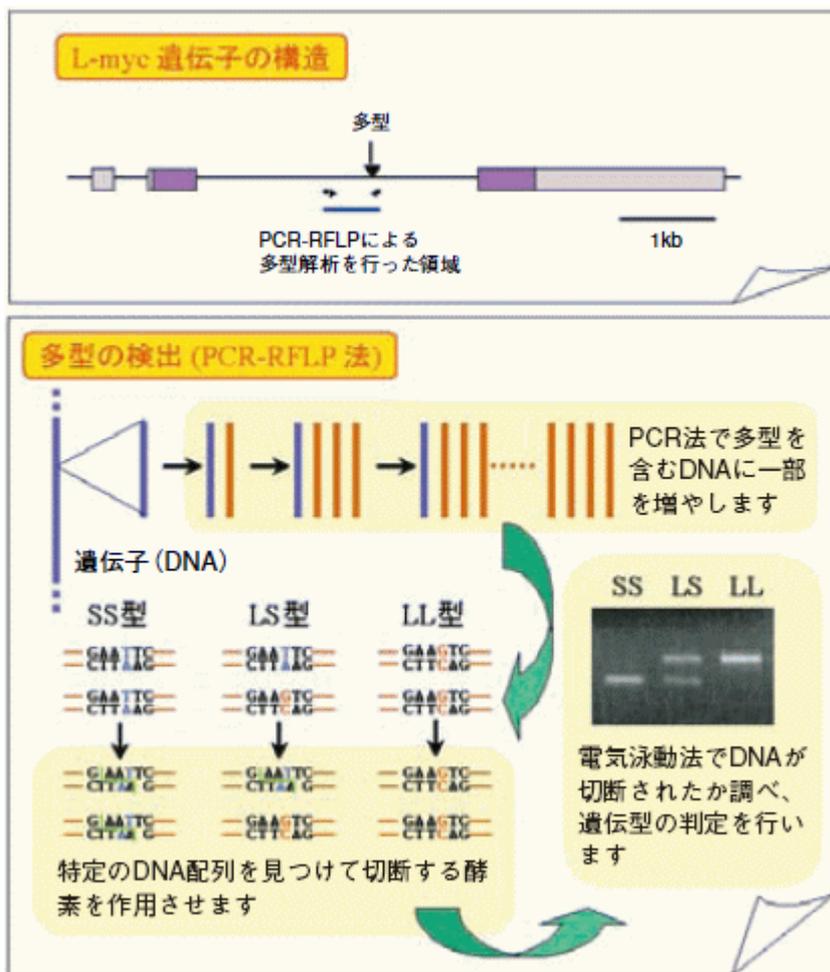


図2.

L-myc 遺伝子の遺伝子型別の喫煙(左)、飲酒(右)による食道がんの発がん危険度。喫煙者の発がん危険度は、患者全体で比べると非喫煙者の約5倍の危険度を示しますが、それを遺伝子型別に解析すると、LL型の人では2倍弱の危険度を示し、LS型、SS型の人では、6, 7倍となっています。つまり、L-myc の遺伝子型によってより大きな危険度を示す人々が存在することが分かります。飲酒による発がん危険度についても同様の結果が得られました。

公開講座のお知らせ

回	開催日時	テーマ	場所
---	------	-----	----

1	平成16年7月23日(金) 14:00~15:30	「消化器がんの診断と治療」 消化器内科部/医長/田近正洋 始め2講演	愛知県 がんセンター
2	平成16年8月19日(木)、20日 (金) 13:00~16:00	「高校生のための実験・体験ツアー」(事前申し込み制:定員16名)	
	平成16年8月20日(金) 14:00~15:30	「肺がんを克服しよう」 呼吸器内科部/医長/堀尾芳嗣 始め2講演	
3	平成16年9月18日(土)		
	(1)がん征圧講演会 13:00~16:00	「がんの予防と治療の最前線」 疫学・予防部/室長/若井建志 始め5講演(事前申し込み制:定員300名)	
	(2)研究所研究内容のパネル展示 10:00~16:00	「最先端のがん研究とは」 パネル、模型等を使って分かりやすく紹介します。	
	(3)研究所見学ツアー 10:00~14:00	「研究所見学ツアー」(当日申し込み制:先着160名)	
4	平成16年10月15日(金) 14:00~15:30	「最新のがん医療(1)」 頭頸部外科部/医長/兵藤伊久夫 始め2講演	岡崎市医師会 公衆衛生センター
5	平成16年11月7日(日) 13:00~15:00	「最新のがん医療(2)」 県立愛知病院長/陶山元一 始め3講演	

◇問合せ先:運用部事業課公開講座係 052-762-6111(内線 2301・2302)

◇ホームページからも詳細を見ることが出来ます。

## Aichi Cancer Center News

### 病院からの報告



病院  
泌尿器科部  
部長 林 宣男

前立腺がんは、社会的に注目を集めている泌尿器科領域で最も頻度の高いがんです。前立腺がんのステージは四段階に分かれています。ステージAは前立腺肥大症の診断で手術が行われ、摘出した組織の病理検査で発見されたがんです。ステージBは前立腺内にとどまる局所限局がん、ステージCは前立腺被膜外や精嚢腺に浸潤している局所浸潤がん、ステージDは転移のあるがんです。

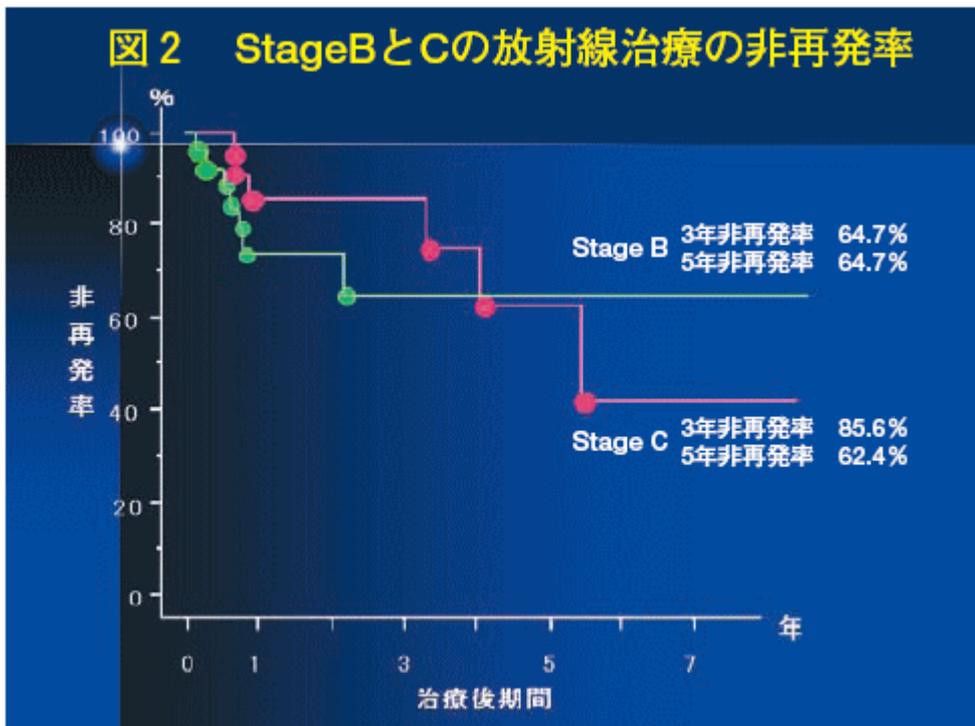
ステージCの治療は、欧米では放射線治療が主流でしたが、日本では前立腺全摘術が多く行われてきました。最近では放射線治療の技術が進歩し、日本でも放射線治療が主流となりつつあります。しかし、ステージCは放射線治療単独で根治を得ることが難しいため、内分泌治療を併用しています。当センターでも内分泌治療を先行し、5~6か月後に放射線治療を開始しています(図1)。

**図1 前立腺癌に対する放射線治療の方法**



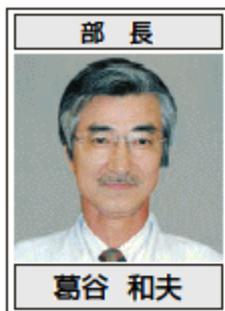
治療は、振子原体照射法(三次元照射法)で行い、直腸や膀胱などの隣接臓器への放射線障害を極力少なくしています。よって、この治療による後遺症はほとんどありません。治療は35回かかりますが、1回が5分程で終了するので8割以上の方が外来通院で治療されています。治療成績は、前立腺全摘術と比べて遜色ありません(図2)。

**図2 StageBとCの放射線治療の非再発率**



**診察医の紹介** 今回は、婦人科部です。

女性生殖器に発生する悪性腫瘍(具体的には子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん(卵管がん、腹膜がんを含む)を主とし外陰癌、陰癌)の診断と治療を行っています。より厳格な診断の元に治療の適応判断に努め、治療にあたってはその目的を明確することに心がけております。その為には「がん告知」は全員に行っています。可能な限り機能温存手術を目指す一方、必要ならばより積極的に化学療法(抗癌剤療法)や放射線治療を併用する集学的治療を行っています。



## Aichi Cancer Center News

平成16年7月1日現在の外来診療担当一覧です。

### 主な診療案内

受付時間：午前8時30分から午前11時30分まで

(自動再来受付機) 午前8時から午前11時30分まで

診療科	月	火	水	木	金
総合初診	山雄	杉浦孝	山雄	森島・大野	大熊
消化器内科	山雄(初診) 田近・水野	山雄(初診) 水野・河合・澤木	山雄(初診) 高橋・澤木	中村・高橋 澤木(初診)	中村(初診) 田近・河合
呼吸器内科	樋田	杉浦孝・吉田	堀尾	杉浦孝・樋田・堀尾	吉田
循環器	波多野	大熊	大熊	波多野	大熊
血液・細胞療法 薬物療法	小椋(初診) 鏡味・田地・尾山	森島(初診) 小椋・神谷	鏡味(初診) 田地・尾山	森島(初診) 小椋・神谷	鏡味・田地(初診) 尾山(第1・3・5) 神谷(第2・4)
頭頸部外科	長谷川・小川		長谷川・兵藤	(予約のみ) 寺田(第1・3) 小川(第2・4) (第5交代制) 長谷川・寺田 小川・兵藤	寺田 兵藤(第2・4予約のみ)
胸部外科	(予約のみ)	(予約のみ)	(予約のみ)	波戸岡	光富・篠田 波戸岡・森
乳腺外科	亀井・水谷 岩田(初診)	岩田・亀井 水谷(初診)	岩田・遠山 亀井(初診)	岩田・水谷 遠山(初診)	亀井・遠山 岩田(初診)
消化器外科	山村(第2・4) 伊藤(第1・3・5) 小森	金光・小島	加藤・山村・清水	安井・平井・伊藤	(予約のみ)
整形外科	杉浦英・山田	(予約のみ) 杉浦英	山田		杉浦英(第1・3・5) 山田(第2・4)
泌尿器科	林		脇田	林・脇田	
婦人科	葛谷・那波	葛谷・中西・生駒	那波・中西	葛谷・那波・生駒	中西・生駒
放射線診断部	佐藤		山浦		稲葉
放射線治療部	不破・古平・立花	古平・古谷	不破・古谷	不破・古谷・立花	不破・古平・立花

※医師名の後の数字は、月の週を表します。 ※変更(休診)等がございますので、お電話でご確認ください

※再診予約制診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください

※052-764-2911(直通)午前9時~5時(土・日・祝・年末年始除く)

### 交通案内

地下鉄利用：「自由ヶ丘」②番出口から徒歩7分

◎名古屋・栄から

所要時間：名古屋から約30分

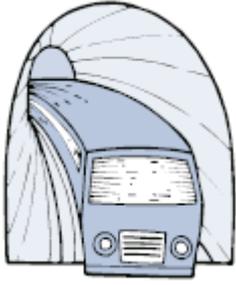
東山線「藤ヶ丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「新瑞橋」または「名古屋港」行き乗車、「自由ヶ丘」下車。

◎金山・栄・大曾根から 所要時間:金山から約35分  
名城線「名古屋大学」行き乗車、「自由ヶ丘」下車。

市バス利用:「千種台中学校」から徒歩4分

◎名古屋駅から 所要時間:名古屋駅から約40分  
基幹2系統「光ヶ丘」または「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車。

◎星ヶ丘から 所要時間:星ヶ丘から約20分  
星丘11系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車。



所在地 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1-1

Tel. (052)7 6 2 - 6 1 1 1(代)

Fax. (052)7 6 4 - 2 9 6 3